



Seiko Resort 誕生

—ここから始まる、新しい働き方—



木々や植物が調和するリゾート感あふれる屋外エリア



Outdoor area



透明感あふれるガラス庇が印象的な従業員専用出入口
スタイリッシュで洗練された外観が建物のアクセントに

Employee entrance



Open staircase

開放感あふれる3階まで続く吹き抜きの階段

Entrance



エントランスの正面を彩るのは、波の動きをモチーフにした漆喰の壁
職人技が光る繊細な陰影と優美な曲線が印象的



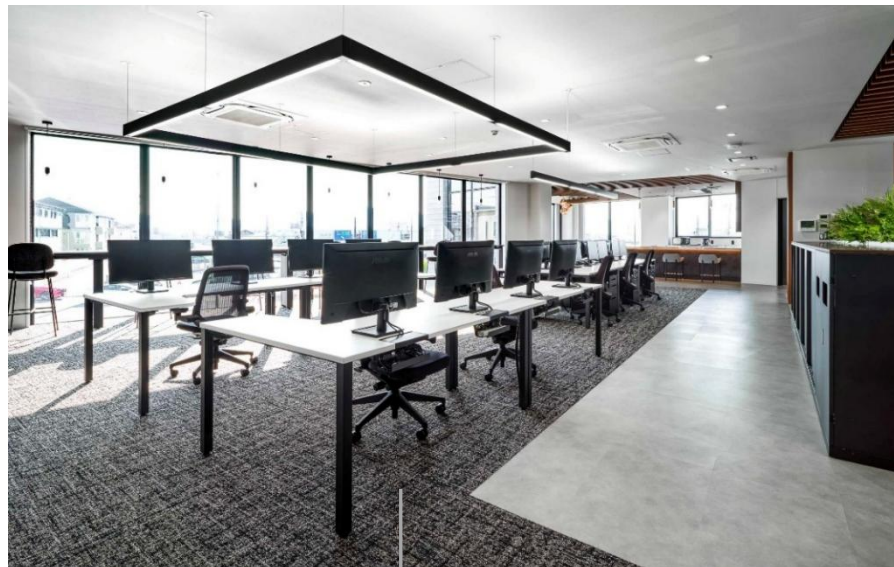
Reception room

エントランスに隣接したレセプションルームには、55インチの大型モニターを設置
セイコーカラーの椅子が空間に彩りを添え、明るく印象的な雰囲気

Office area



ファミレス席



ハイカウンターとハイチェアでカフェ風に

2階の執務エリアは、自由に席を選んで働けるフリーアドレス制を採用。その日の気分や業務内容に合わせて好きな場所で仕事ができるため、社員同士のコミュニケーションの活性化にもつながっています。また、観葉植物を多く配置し、リラックスできる空間となりました。



Refreshment room



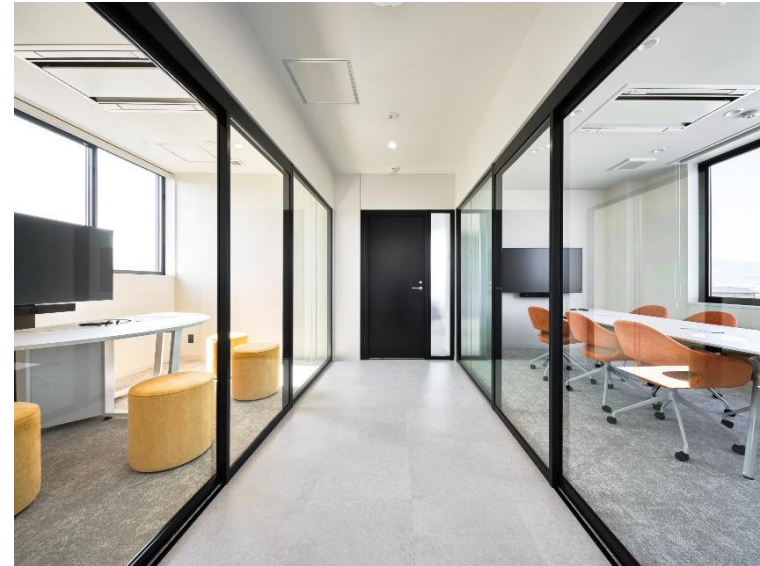
執務エリアに併設されたリフレッシュルーム
コーヒーマシンを設置



OCEAN

一番大きな会議室【OCEAN】は、大きな海をイメージ。絨毯には「波」をモチーフとした3パターンの柄を採用し、水の流れを表現。机と椅子は雲を思わせる白で統一し、ロールカーテンには青空をイメージしたブルーを取り入れ、空と海が広がるような開放的で心地よい空間になりました。

3階には、3つの会議室を配置
リゾートにふさわしいコンセプトルームになりました
天井にWEB会議システムを搭載し、スマート化



SUNRISE



Meeting room

SUNSET



朝日をイメージしたイエローの椅子を配した
【SUNRISE】と、夕日をイメージしたオレンジの
椅子を配した【SUNSET】
砂浜をイメージしたサンドカラーの絨毯を採用



3F hall & Lawn area

President's office

ブルーのソファと大きな窓が印象的な社長室



社長の想いを空間に。こだわりを形にした新社屋づくり

ー 設備工事を担当された株式会社セイコーファシリティーズの菱田部長にお話を伺いました ー

今回の新社屋プロジェクトで担当された設備工事の内容を教えてください。

空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備など、設備工事全般を担当させていただきました。これまで数多くの新築工事に携わってきましたが、自分たちが働く場所を自分たちの手でつくり上げるというなかなか経験できない体験をさせてもらい、とてもやりがいのあるプロジェクトでした。

設備工事で特に難しかったことや苦労したことはありましたか。

「滋賀で一番おしゃれな建物をつくりたい」という社長の想いに応える設備計画を実現することが、最大の課題でした。特に照明は、目に見える設備なので、光の当たり方や照明器具の形・色に至るまで細部にこだわり、工期が迫るなか納期との戦いでもありました。

また2階の執務エリアは、斜めのレイアウトを採用しており、ダウンライトも多く、空調室内機や制気口との取り合いを調整しながら位置を決める作業が大変でした。さらに、室内機の吊り込み作業時には、床が仕上がっていなかったため斜めのレイアウトに合わせた墨出し作業にも苦労しました。



他事業所の皆さんが来られた時に見てほしいところはあるですか。

会議室から見える景色をぜひ見てほしいです。建物が少し高台にあるので景色も良く、比叡山をきれいに望むことができます。

夜の新社屋も見たいポイントの一つです。建設中には、社長自ら夜間の照明の見え方を確認しに来られるほどこだわられていました。

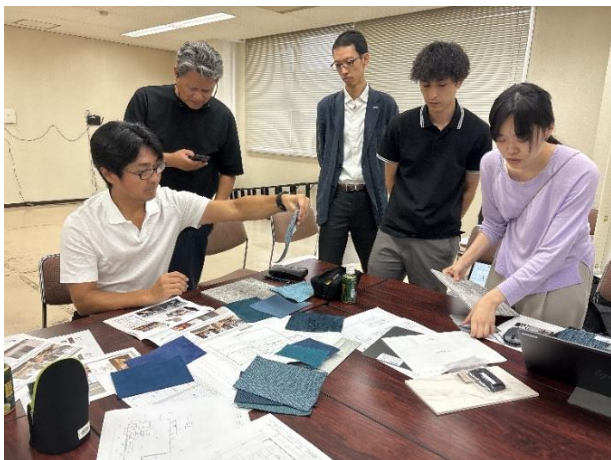
家具や内装にも多くのこだわりが詰まっています。例えばソファの張地は、作業服姿で戻ってきても気兼ねなく利用できるよう、汚れが付きにくい素材を採用しています。そのほかの内装材や仕上げについても、社長が一つひとつ丁寧に選定されました。

こうした細部へのこだわりが随所に詰まった新社屋ですので、ぜひ実際に足を運び、その魅力を感じていただきたいです。

まさにSEIKO RESORTが一つの形になりました。

見えない設備力と、魅せるデザイン。新社屋に込めた想い

— 設計を担当していただいた株式会社澤村(SAWAMURA)の長野様にお話を伺いました —



新社屋の設計コンセプトを教えてください。

清弘エンジニアリング様の設備会社としての顔を考えて、建築・設備・家具が一体となる空間づくりを目指しました。その流れから家具メーカーのITOKI様にも全面的にご協力いただき「SEIKO RESORT」を合言葉に、清弘エンジニアリング様、セイコーファシリティーズ様、ITOKI様、そして私たちSAWAMURAが一体となってデザインを進めることができました。会議室の「SUNRISE」「SUNSET」「OCEAN」といった部屋はまさにこのリゾートのコンセプトから生まれたものです。

オフィスをデザインするにあたっては、エンゲージメントと呼ばれる会社と社員の絆や愛着のようなものが今とても重要視されています。井畑社長の従業員の皆様や会社に対する強い思いがいろんなところに詰まったデザインになっています。このようなプロジェクトに携わらせていただけたことを、心から感謝しています。

設計過程で苦労したところや難しかった課題はありましたか。

ずばり、井畑社長の審美眼でしょう。

従業員の方々の専用出入口をカッコよくしたいということで、ガラスの底をご所望されたのは、なかなかの難題でした。実はオリジナルのガラスの底は日本の建築デザイン雑誌でも出ることはなく、参考になる設計資料もなかなかありませんでした。設計当時は、鉄骨の納期と格闘しながら、なんとか実現させていただくことができました。ここまでこだわりを持ってデザインに挑戦させていただける事業主様にはなかなか出会えないと思っています。今回のプロジェクトは、私たちにとっても非常に勉強になる貴重な経験となりました。

思い入れのある場所、もしくはお気に入りの場所がありますか。

空間の中で家具そのものがアクセントとなるようなデザインを意図しています。椅子は座面の色だけでなく、脚部の色に至るまで一つひとつ検討を重ね、全体のデザインを決定していきました。そうしたこだわりを積み重ねた結果、お客さまを案内する最初の部屋でもあるレセプションルーム、そして建物外観そのものが、まるで清弘エンジニアリング様の企業カラーそのままを表したようなコーディネートに仕上がりました。とても感慨深く思っています。

建物の中で特に見てほしいポイントがあれば教えてください。

良い設備というのは実は逆に目立たないものです。室外機一つないバルコニー、正面や道路側からは排気口のようなものが一切見えません。見えないからこそ設備力なんですね。逆に照明は空間をカタチづくる要素としてデザインされていて、夜になるとガラスからいろんな光が映し出され、昼間とは異なる表情を見せてくれます。

また、建物の上空に走っている高架線による高さ制限と、空間のために斜めにふられた内部レイアウトによって、設備工事は非常に難易度の高いものになっています。そのような複雑な設備工事をセイコーファシリティーズ様の施工力で実現していただきました。素晴らしい仕事になっていますので、訪れた際はぜひ着目していただければと思います。





Seiko Resort

2026年3月竣工

建築工事 株式会社 澤村
設備工事 株式会社 セイコーファシリティーズ
オフィス家具・空間デザイン 株式会社 イトーキ

構造 鉄骨造
階層 3階建て
延床面積 1,108.61㎡

〒520-2153

滋賀県大津市一里山5丁目11-5

株式会社 清弘エンジニアリング 滋賀支社
株式会社 セイコーファシリティーズ

新社屋が完成するまでの様子をタイムラプス動画で公開中！

